

第2回 王寺町総合計画審議会

日時：平成26年3月28日(金) 午後2時～

場所：やわらぎ会館3階 小会議室2

議題

1. 住民アンケート調査結果について
2. 庁内ヒアリング調査に基づく主要事業の検討について
3. 将来像の検討について
4. その他

1 あいさつ

【事務局】

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。会議に入ります前に、前回の審議会においてご承認いただき、今回から土地利用など都市計画関連の専門の見地からアドバイザーとして県職員の方に出席していただきますのでご紹介申し上げます。

奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 都市計画室の室長であります羽山 宏様。続きまして、同都市計画室 土地利用係 係長の堅田 健 志様。

はじめに、羽山室長より、自己紹介と併せまして、お手元にお配りしています「王寺町の都市計画の概要」についてご説明いただきます。よろしくお願いいたします。

【室長】 <自己紹介および資料「都市計画の概要」に基づき説明>

【事務局】

ありがとうございました。それでは、ただいまから、第2回王寺町総合計画審議会を開催させていただきます。本日の委員の出席は14名で委員総数15名の過半数を超えておりますので、条例の規定によりまして、会議が成立しますことを、ご報告申し上げます。それでは、開会にあたりまして、中川会長からごあいさつをいただき、議事の進行をよろしくお願いいたします。

【会長】

こんにちは。第1回は顔合わせのようなものでしたが、それでも1人ひとりからご発言いただけたのではないかと考えております。できるだけ皆様の活発なご発言を賜りますよう、よろしくお願いいたします。それでは、早速、始めさせていただきます。議題の1番、住民アンケート調査結果について事務局からご説明をお願いいたします。

2 議題

議題1 住民アンケート調査結果について

【事務局】 <資料①に基づき住民アンケート調査結果について説明>

【会長】

住民アンケート調査結果については、常に意識する必要があると思います。ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【委員】

2,000件に配布されて、返ってきた回答は932件ということですので、半数に達していないということになります。これはダイレクトメールですね。返ってこなかった理由は何でしょうか。

【事務局】

ご回答いただいた方の性別や年代を4ページに掲載していますが、主婦の方や無職の方の回答が多いことから、お勤めされている方は家におられる時間が短いため、回収が低かったのではないかと推測されます。一般的に、このような総合計画のアンケート調査に必要なサンプル数については、コンサル会社のお話によりますと、基本的に35%以上あれば反映して活かしていけると聞いています。そのようなことから、今回は46.6%と50%には満たないですが、一定の回収は得られたのではないかと考えております。

【委員】

回収率はそれでよいかもしれませんが、王寺町の人口からして、この程度のサンプル数でよいのかと思います。例えば、王寺町が好きか嫌いかと聞いたときに、嫌いという方はとても少ないです。そのうちの何%となると少しのサンプル数しかないのです。果たして町民全体の意識を反映できるのかどうかと思いました。

【委員】

返ってこなかった人から、どのような答えが出てくるのか気になるころだと、委員はおっしゃっているのだと思います。たまたまうちの家族にも届いたので、質問票を見ましたが、かなり詳しく、片手間で回答できるような内容ではありませんでした。女房は2～3日かかっていました。かなり構えて回答を書かなければいけませんので、無職の人と主婦が多いということは、暇な時間があればテレビを見ながらでも書こうかという気になりますが、働き盛りの忙しい人は、ややこしいから放っておけと無視されてしまったということがあるのではないのでしょうか。あまりにも詳しいので、答える人が構えて本音が聞けなかったり、一番聞きたい年代の答えが求められていないのではないかと思います。例えば、50代の人に何人出して、その回収率はどうだったのかということまでは出ていないので、何とも言えませんが、回収率が良いとか悪いということではなく、このアンケート調査の本当の答えが出てきているのか、住民に聞きたい本当の答えが反映されているのかどうかということです。

【会長】

統計的な観点から答えてください。

【事務局】

総合計画では、今後10年の将来計画を策定いたしますので、1つの分野に特化するのではなく、幅広い分野で重要性や満足度をお聞かせいただくために、項目自体は多かったのですが、専門的な内容はあまりなかったと思います。今後、まちづくりを進める中で、一番のキーとなるのは「協働のまちづくり」ですので、「協働のまちづくり」については特化して、ご自分でできること、協働でできることという形の問いかけをさせていただきました。このような統計調査というのは、あくまでも傾向を見させていただくことが一番の目的です。県民だよりなどに、毎年、奈良県の県民意識調査が掲載されていますが、王寺町については西和地域として傾向が掲載されています。西和7町の中の王寺町のサンプル数としては、とても少ないサンプル数になっています。また、

年齢別の割合については、委員がおっしゃるように、高年齢層の回収率が高いということで、全体の傾向としては、高年齢層の方の意見がトータル的なパーセントとして反映されていると思いますが、お配りした資料①の別冊には、年齢別で満足度・重要度を統計しています。このような資料を見比べていただくと、細部の傾向も分かるのではないかと思います。例えば、幼児教育の分野につきましては、高齢者の方で分からない場合は、ほとんど「普通」で回答されています。あるいは、ある程度よいということであれば「満足」と回答されています。子育て世代の方の統計の結果を見ると、あまり満足されていない方もおられることが明らかになっているのが分かります。個々に比較しないと見づらいのですが、年齢別にもウェイトを置いています。

【会長】

人口に対して2,000件というのは、多いのか少ないのか説明してください。

【事務局】

サンプル数については、人口規模に対して何パーセントのサンプル数が必要だということまでは決まっていませんので、人口規模が大きい小さいにかかわらず、一定の参考資料として2,000件くらいの数が適切ではないかということで設定いたしました。

【会長】

この件については、これくらいでよろしいでしょうか。それでは、次に移らせていただきます。議題2 庁内ヒアリング調査に基づく主要事業の検討について、事務局からご説明をお願いいたします。

議題2 庁内ヒアリング調査に基づく主要事業の検討について

【事務局】 <資料②に基づき庁内ヒアリング調査に基づく主要事業の検討について説明>

【会長】

ただ今ご説明いただいた内容について、ご質問等ありますでしょうか。ヒアリング結果の評価については、内部評価ですよ。

【委員】

評価については指標の達成度を表して、ある程度できているというように数値評価をするのか、または、施策の5つのうち3つができているというように評価をするのでしょうか。

【事務局】

現行の計画に対しては、数値目標はベンチマークを用いていますが、設定している項目はかなり少なかったです。計画の進捗については、体制の変更もあり、できていなかったというのが反省する点です。今回、新たな総合計画を策定するにあたっては、政策・施策・事務事業体系を確立して、現状の課題を見極めた上で、将来望ましい姿を想定して、適切な項目や数値目標を設定

して行政評価を取り入れていきたいと考えております。また、数値目標だけではなく、いろいろな角度からの評価を含めて、総合評価をしていかなければならないと考えています。

【会長】

他にはいかがでしょうか。ヒアリング調査の位置づけを確認させていただきます。庁内ヒアリング調査に基づく主要事業の検討は、前の総合計画では、「人の章」「水と緑の章」「和の章」の3本柱でしたが、それに対応したかたちで政策が並べられていて、それについて確認をしたということですね。頑張ったけれども志半ばで止まっているなどの担当局の正直な自己見解が述べられていると思いますので、客観評価というのはまだ難しいと思います。それを踏まえて、次期総合計画では、横目で睨み据えながら、政策の強弱を考えていくべきではないかということですね。そういうことで、ご参考にしてくださいということだと思います。

【委員】

前の基本計画は目標値も含めてかなり詳細にわたって設定されています。新しく作るものなので、做う必要はないと思いますが、例えば、1番の子ども・若者という項目だけ見ても、かなり詳細にわたって、さらに項目を分けて分析しています。評価していただいて、それについての進捗状況も書いていただいていると思いますが、前の基本計画がかなり立派なものなので、その項目から見ると、付け合せながら検討する上では、データが足りないような気がいたします。もう少し細かいデータがあれば、さらに突っ込んだ内容の検討ができると思います。また、行政サイドからの評価として、できた・できなかった・これからだという評価をしていただいたのは分かるのですが、町民から見た評価はどうなのか。それは我々の仕事かもしれないかもしれませんが、その辺を付け合わせるためにも、データが不足していると思います。それから、行革大綱をつくってから今までかなり行革して進んできた項目と、やはり私たち町民から見ると後退して見えるような項目もありますので、それとの付け合せもその中へ入れてもらえると、今後の問題の検討に役に立つのではないかと思います。それらのことを踏まえて検討していくのですが、スタートラインに立つまでの話として、準備運動が不足していると思います。

【会長】

今のご質問に対して、スタンスを説明していただいたほうがよろしいと思います。各項目を点検していただくの実務的な新機能を主観的に与えられているのか、そうではなくて、コンサルを交えて、いただいた意見を加味して作業に加え込んでやりつつ、我々は途中で報告をもらって、重要なことに関してはコメントしていくというスタイルなのか、その辺のイメージを統一しておいたほうがよいかもしれません。

【事務局】

今回の基本構想、基本計画の策定方針については、スタンスとしては、住民の方に分かりやすい、また、職員についてもニーズや重要性を把握した上で実効性のあるものにしていかなければいけませんので、職員にとっても分かりやすく使いやすいということをコンセプトに考えています。委員がおっしゃるように、大変ボリュームのある計画書だと認識しております。一昔前の計

画書というのは、言葉の表現は多いのですが、内容的には抽象的な表現が多々あり、具体的に何をするのかという表現が欠けていたように思います。現行の計画についても、文章表現は長いのですが、実際にそれぞれの部署でどのようなことに取り組んでいくかという詳細部分が欠けていましたので、大変申し訳ありませんが、現行計画に対する細かい評価はできていないというのが現状です。新しい計画を作るにあたっては、窓口で住民の声をお聞かせいただく立場ですので、現状の課題を認識した上で、今後、どのような施策があるべきか、望ましいかということを立てた上で、提案させていただきたいと考えています。

行革項目については、ご承知のとおり、トップの交代により組織が見直され、行革自体が見直されましたので、人員削減以外の実施計画は途中で終わっています。新しい町長が就任いたしまして、新たな行革ということで、やわらぎの手帳の見直しや、いろいろな分野について今後進めていこうと考えておりますので、そのときには内容をお知らせしながら、ご理解とご協力をいただきながら進めていかなければならないと認識しております。

最後に、町民目線というスタンスについては、審議会の場もその1つだと考えておりますので、委員の役割だとおっしゃっていただいたことは非常にありがたいです。また、住民意識調査のアンケートの結果も非常に大事だと思っております。ある程度計画の内容が固まった時点で、パブリックコメントを実施したいと考えていますので、ホームページに内容等を掲載させていただいて、より多くの方からご意見をいただきながら、最終的に計画を固めていきたいと考えております。

【事務局】

皆さんにご審議いただいて総合計画を策定していくのですが、一定の期限を設けて住民の方にお示ししていくということになりますと、時間の制限もございますので、どこまでご審議いただければよいのかというところがあります。また、町としてやるべき作業の部分と、この場でご審議いただく部分と、ある程度明確にしてやっけていかないと、あまり広げ過ぎると時間がかかるだろうと認識しています。お示しする資料については、町でしっかりと事前に準備していくことが必要だと思っておりますが、全ての資料を出していくとなると、準備が広範になりますので、ある程度集約した形でお出しすることになります。ご指示いただきましたら、必要な部分については、次回に資料を提示させていただきたいと思っております。住民アンケートも必要な部分をしっかり精査していきたいと考えていますので、クロス集計をしながら、どういう方がどのようなご意見なのかというデータ分析をしていきます。分析するために必要なサンプル数は取らせていただいたと考えております。限られた時間ではありますが、慎重にご審議いただいて、決められた時間の中で必ず完成させなければいけないということではありませんが、目標設定としては、その時期をめざして、今後進めさせていただきたいと考えております。

【会長】

よろしいでしょうか。それでは、次の議題に入らせていただきたいと思います。3番の将来像の検討について、事務局から説明をお願いいたします。

議題3 将来像の検討について

【事務局】 <資料③に基づき将来像の検討について説明>

【会長】

将来像案の①～③は行政提案のたたき台ということでよろしいでしょうか。これ以外に提案していただいてもよろしいということですね。それでは、ご意見をいただきたいと思います。これについては、手を挙げていただくということではなく、お1人ずつ順番におうかがいします。

【委員】

住民の方が納得されるスローガンがよいと思いますので、町外の人間が発言するのはどうかと思いますが、アンケートなどを見ていると、震災の影響だと思いますが、人のつながりという回答が強調されていたような気がします。そういう意味では、人のつながりを大事にするという発想が、今後の参画と協働の町政をやる上でも大事だと思います。言葉の表現はどのようなものでもよいのですが、そのような趣旨が入っているものがよいのではないかと思います。

【委員】

アンケート調査で、住みやすいという理由の中には、通勤・通学に便利だからということがあります。王寺町というのは、王寺駅を中心として、交通という位置づけは、王寺町の一番の強みであり、また、西和広域圏としても王寺駅を中心という物の考え方があります。買い物についてはアンケート調査では、便利だという意見と不便だという意見が両方出ていますが、王寺町内で買うのは不便だけれども、周辺に適当なところがあるから買い物は不便ではないということなのかもしれません。あと今の町長は、非常に観光政策に力を入れています。

【会長】

みなさま1分程度でお願いします。全員にご意見をいただきますので、まとめてお願いします。

【委員】

先ほどの人のつながりということでは、町民同士のつながりも含めて、西和広域圏の中心都市として、西和広域圏をまとめていくリーダーシップのあるまちづくりというビジョンでやっていくということは、王寺町の役目であり要だと思いますので、王寺駅を中心としたそういうイメージを反映してほしいと思います。そういう意味で、人のつながる云々ということで、この3つの中から選ぶとすれば、③のような意味合いのものがよいと思います。

【委員】

今まではぼやとしたイメージでしたが、町長が代わられまして、明らかにはっきりとこういうまちを目指すということを感じています。協力できることは協力していこうと思っています。これからは環境やエコという意識が必要だと思います。それから、王寺町は水害があり、私自身も被災したことがありますので、それ以降、安全に向かって30年やってこられたと思いますので、どこまで安全になったのかアピールできるようなものがあればよいと思います。「環境」と「安全」

が住みよいまちにつながるのではないかと思います。

【会長】

確認しておきますが、いろいろな項目やキーワードをあげておられますが、キーワードそのものにこだわるのではなくて、キーワードを活かしたような表し方であればよいというように理解していただかないと、この言葉を外されたら困りますと言われたら議論ができなくなりますので、イメージの議論ということでご了解いただきたいと思います。

【委員】

王寺町というのは、温かいイメージがあります。皆が王寺町という小さいまちで育って、隣の人を知らないようなまちではなく、みんなが顔を知っている、みんなが未来に向かっていくという、心がつながるようなイメージを入れていただけたらと思います。

【委員】

商工会でまちづくりをしていますが、まちづくりをしようと思ったら、やはり人に来てもらわなければいけないと思います。王寺町を中心として、観光してもらえるように商工会では力を入れています。町長も少しでも王寺駅に降りてもらえるように、駅前に力を入れてPRしていただいているのですが、少しでも他の県から王寺町に来ていただいて、前回も言わせてもらいましたが、若者も集まれるようなまちにしたいと思います。

【委員】

今まで話してきた中で、「町民」や「住民」という言葉がたくさん出てきました。アンケートの問題でも、住民の何パーセントということ、また、返ってこない人はどういう住民なのかという意見もありましたが、求めるばかりの住民でよいのでしょうか。やはり自分の義務を果たすような住民をどうやってつくっていくのかということに、もう少しライトを当てたほうがよいと思います。行政が何でもできるわけではないので、ここの言葉を使うと、心をつなげてどうつくっていくのかということ考えたほうが、具体案が出るのではないかと思います。ただ何パーセントでどうのこうの言ったところで、自分の子どもでも言うことを聞きませんので、人が言うことを聞くはずがありません。その辺のことを掘り下げてもらえるとありがたいです。言葉は何でも結構です。

【委員】

この前、軍師黒田官兵衛のNHKのテレビに王寺町が出て、全国的に放送されました。テレビを見て感じたのですが、王寺町というと聖徳太子の和（やわらぎ）という言葉が私の中ではピンとくるので、①「人とまちがきらめく和（やわらぎ）のふるさと 王寺」を推薦したいと思います。

【会長】

はっきりこれだとイメージできたのですね。

【委員】

これからは観光に力を入れていかれるということなので、王寺の人たちは観光者に対して親切に、人に目を向けられる余裕のあるまちになってほしいと思います。

【委員】

どれがよいか迷っています。もう少し候補があるとよいと思ったので考えてみましたが、思いつきませんでした。強いて言えば、心がつながる、和（やわらぎ）ということで、②がよいのではないかと思います。

【委員】

私はつべこべ言いません。①「人とまちがきらめく和（やわらぎ）のふるさと 王寺」です。私の考え方と全く同じで、設定理由も正にこの通りだと思います。現実には一年間、今の町長と進めてきました。

【委員】

和（やわらぎ）をコンセプトに置いているのではないかと思います。自助・共助・公助とありますが、この3つを基本にして、人が住みやすい王寺町を形にできればよいのではないかと思います。

【委員】

王寺町は、県内の中でも少子化がかなり進んでおります。西和圏の交通の拠点としてのまちづくり、また、まちを活性化するためにも、将来的に企業誘致を図っていかないと、低収入ということにも影響しますので、もう少し具体的に将来像を図っていきたいと思います。

【委員】

自然を大切にしていきたいと思っています。自然と住民の皆さんが融合できるような水辺の空間など。一番思っているのは、南海トラフ等の地震が起こることです。住民との絆や助け合いも大切にしていきたいと思っています。この中から選ぶなら、③がよいと思います。

【会長】

一通りご意見をいただきました。具体的におっしゃられたのは、①と③はお2人ほどご支持され、②もご支持されました。いずれも、和（やわらぎ）が中心になっていますので、これは全員一致だと思います。和（やわらぎ）はメインコンセプトですから、これをベースとして何か加工したらよいと思います。いただいたご意見は大変貴重ですが、全てを合わせて一行にするということは不可能であるをご承知ください。基本構想の書き振りの中に、先ほどの企業誘致や自然の保全の検証などの記述が入ってくると思いますので、今後、確認していききたいと思います。それを踏まえた上で、将来像の一行がエッセンスとしてにじみ出てくると思います。案をもう一度練り直す作業になるのか、あるいは、サブタイトルを入れるという手法もあるのではないでしょう

か。難問をお返しするのは気の毒ですが、事務局に一旦お返しして、好きなように料理してください。ここで議論をしても固まりませんので、そのようにしなければ仕方がないと思います。皆さんの想いは伝わりましたので、その想いを表す形でもう一度練り直してみてください。なかなか決まらない場合には、投票で決めることになるかもしれません。ありがとうございました。皆様方から貴重なご意見をいただきましたので、基本構想については、フレームとしての材料は揃ってきたと思います。それを踏まえて引き続き作業をするということによろしいでしょうか。それでは、もう一度改めて、今後、的確に作業を進めていくという前提で確認をしておきます。まず、基本的には前の総合計画の組み立て方をそのまま踏襲します。中身は、冒頭は基本構想、次に基本計画という二段構えになります。議会での議決対象は、かつては、地方自治法第2条第4項で、基本構想が議決対象でした。約4年前に自治法が改正されて、義務づけ・枠づけから外されてしまいましたので、議決対象ではなくなりました。しかし、王寺町議会では、協議させてくれという姿勢でしょうか。

【事務局】

まだそこまでの話はしていません。

【会長】

しかしながら、従前の慣行・慣例からいうと、基本構想はご審議されてきました。基本計画まで議決対象にしたいという市議会もありましたが、私はご勘弁願いたいと思っています。何故かといいますと、基本計画まで議決対象になると、議会さんも一緒に執行責任を持ってくれるのかということになります。そのとおりにいかなかった場合、責任を問うことになり、議員さんに責任を取れという話にもなりかねないので、その辺はやわらかくしておいたほうが、お互いに議論がしやすいと思います。

お2人の議員さんが見えですので、その辺のところはあえて、失礼ながら、お助けいただきたいというお願いをしました。よろしく願いいたします。フレームは固まってきましたので、基本構想を固めていただいた次は基本計画の各章ごとに片付けていくという段取りになります。それから、先ほど委員がおっしゃったことにかかわることですが、行財政改革の計画だけではなく、福祉基本計画や教育基本計画、環境基本計画などありとあらゆる基本計画が役所にはあるはずで、現在進行形の基本計画もあると思いますので、各基本計画の担当部署は、どれくらい進んでいてどれくらい上手くいってないということは分かっていますので、それを踏まえて、先ほどの主要事業の検討が出てきたのだと理解しています。それらの反省も踏まえた形で、今回の総合計画ができていくということです。個別の計画は総合計画と同じようなタイミングで動いているわけではありませんが、同時平行で、それらの計画も大事にしながら、あるいは応援しながら、修正しながら作っていくという形になると思います。全ての部門にわたる計画になりますが、分野別の個別計画は、各部局のご努力を尊重していきたいと思っています。どうしてもここは担当部局の話を知りたいということが出てくるかもしれませんので、その場合は前もって呼んでいただけたらと思います。そういうことによろしいでしょうか。

【委員】

関連でよろしいでしょうか。ヒアリングのところは今後の対策・課題とありますが、アンケートの中では、今後のまちづくりのことや今のまちづくりに満足しているかどうか聞いていますが、そのようなことは反映されているのでしょうか。

【事務局】

主要事業の検討につきましては、あくまでも庁内のヒアリングとしてやっていますので、今後、計画をつくる際には、どちらも反映させて総合して組み立てていかなければいけないと考えています。

【委員】

アンケートの結果を照らし合わせて見なければいけないと思いましたので、確認させていただきました。

【会長】

見方によっては、「あまりできていない」というところは正直に書いてあると思います。自ら「できていない」と言うのは勇気がいることです。謙虚に書いていて、できていないところは却って信用できる所です。「十分にできている」と書いてあるところはあるのかなと思いました、それも1つもないので正直だと思います。それでは、本日の議事案件は全て終わりましたので、事務局へお返しいたします。

【事務局】

将来像については、事務局でしっかりと案をつくって、諮らせていただきたいと思います。今回は、将来像と併せて基本構想の素案や基本計画の骨子案を提案させていただきたいと思っております。大変お忙しい中、申し訳ありませんが、次回の日程は、5月27日（火）午後3時30分から予定しております。会場については、前回と同じ役場3階の応接会議室で開催させていただきたいと考えております。時期が近くなりましたら、また改めてご案内を差し上げます。資料も前もってお渡しいたしますので、よろしくお願いいたします。それから、事務局で人事異動がありました。係長の幸田が、新たに創設されます地域交流課の課長に転出・異動することになりました。後任といたしましては、福祉介護課の係長の藤岡が配属となりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

【室長】

本日はオブザーバーとして参加させていただきましたが、4月1日より建築課へ異動になります。今回は新しい室長がオブザーバーとして参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

オブザーバーとしてお越しになっても、今後は各委員と同じようにご発言ください。役に立つことがあれば、どんどんご意見をください。

【事務局】

もう少しお時間をいただけるとありがたいのですが、今回、王寺町役場の若手職員が中心となって、基本構想というのは10年先の将来像を設定するのですが、30年先の王寺町がどのように発展していったらよいのかということを考えて、現状の法的規制などは抜きにして、1つの案にまとめ上げました。10分程度お時間をいただいて、パワーポイントで発表する機会を与えていただけたらありがたいのですが、よろしいでしょうか。

【会長】

どうぞ。準備する時間をお借りして、補足させてください。先ほど委員からご意見をいただいた中で、住民の義務が抜けているのではないかというご意見がありました。今回の総合計画では、住民がやるべきこと、行政がやるべきこと、協働でやるべきことを、仕分けしようと考えています。それから、別の委員からご意見をいただきました、自助・共助・公助という観点もそこに入ってきます。せっかくよいお言葉をいただきましたので、活かしていきますということをお伝えしておきます。